

令和5年1月10日

# 学校だより 1月号

神奈川県立平塚盲学校



## 「ちょっと変わった沖縄の年末年始」

視覚障害教育推進部 総括教諭 高良 卓児

沖縄では大みそかに「沖縄そば」を食べて年越しをします。年越しそばを食べるのには、そばが細く長いので長寿を願い、細く切れやすいため年を越す前に食べきり厄災を断ち切り新年を迎えるといった意味があります。実は沖縄で年越しそばを食べるようになったのは1972年の本土復帰以降で、県外の風習を真似て製麺所が年越しそばと銘打って沖縄そばを売り出したのが始まりのようです。まだここ50年前後の比較的新しい習慣となっています。沖縄そばの麺は100%の小麦粉とかん水などで作られ、そば粉は使われていません。パッと見たところはうどんのようにも見えます。スープは豚骨とカツオの合わせだしを主体とし、豚の三枚肉などがのっているのが基本です。

お正月の伝統料理にも違いがあります。おせち料理やお雑煮ではなく沖縄の伝統料理でもある沖縄重箱料理を用意します。一般的には、沖縄の重箱は1段目にモチ、2段目に料理が詰められます。料理は、魚天ぷら・昆布煮付・田芋から揚げ・赤カマボコ・揚げ豆腐・カステラカマボコ・ごぼう煮付・こんにやく煮付・三枚肉煮付等の9品です。田芋とは水田で栽培される里芋の一種で、沖縄の伝統野菜のひとつ。親芋を取り囲むように小芋がたくさんつくことから、子孫繁栄の縁起物として沖縄の行事料理には昔から欠かせない食材です。またお雑煮の代わりに、豚の骨付きあばら肉と冬瓜や結び昆布を入れて煮込んだカツオだしの汁物のソーキ汁や、豚の内臓(モツ)を使った汁物で中身汁、豚肉やこんにやく・かまぼこなどの具材を加えて、甘味噌で味をつけた汁物のイナムドゥチなどを各家庭の好みに用意します。「イナ」はイノシシ、「ムドゥチ」はもどきの意味を持ち、「イナムドゥチ」は「イノシシもどき」という意味。かつてはイノシシの肉を使っていた汁物だったそうですが、イノシシ肉が手に入りづらくなったため、豚肉を使って作られるようになったことからこの名がついたそうです。毎年神奈川で正月を迎えるので、沖縄で食べた昔ながらの伝統料理を懐かしく思います。

私が子供のころは年末年始に家族で旅行に行く家庭よりも、親戚の家へのあいさつ回りや、祖父母の家に一門が集まることが一般的でした。私も父に連れられお年賀を持って新年のあいさつに親戚の家を回りました。お正月ぐらいしか会わない方もいるので親の長話に付き合うのは辛かったことを覚えています。因みに沖縄にもお年玉という習慣はあります。沖縄県内でも地域によっては旧正月にお年玉をあげるところもあるようですが、一般的には日本全国と同じ1月1日にお正月を祝うので子供たちに渡すお年玉は新暦のお正月1回だけです。子供にとって親戚回りをするとお年玉をもらうことが楽しみだったのは本音です。

沖縄の人々は昔ながらの風習を大切にしながら、本土復帰後に日本の風習や文化もうまくチャンプルー(まぜながら)しながら暮らしています。

## 1月行事予定

- 4日(水) 図書閲覧室閉室(床張り替え工事のため)～20日
- 10日(火) ②始業式・校内成人式 ③保専④中普スマホ・ケータイ安全教室  
開舎 舎・安全指導 【入学選抜出願期間～13日】
- 11日(水) 給食開始 体重測定(小)
- 12日(木) 体重測定(普1)
- 13日(金) 保専部B型肝炎検査 解剖見学実習(専保2,3専理2)  
体重測定(幼・中・普2) 一斉帰省
- 16日(月) 体重測定(普3)
- 17日(火) 第3回あま指模試 体重測定(普3) 部活  
舎・リーディングサービス
- 18日(水) 第3回はき模試 第3回普通科校内模試 校外学習(普2)
- 19日(木) (保専部B型肝炎検査14:00) 校内普通科第2回理療科模試  
介護等体験 舎・囲碁教室
- 20日(金) 校外学習(幼) 介護等体験 一斉帰省
- 22日(日) 英語検定
- 24日(火) 部活 医療器展示会15:00
- 26日(木) 短縮日課(13:30下校) 一斉帰省
- 27日(金) 幼稚部・高等部入学者選抜・小学部体験入学 臨時休業  
(28日、29日:入選予備日)
- 30日(月) 舎・囲碁教室
- 31日(火) 部活 舎・リーディングサービス

## 2月行事予定

- 1日(水) 精神科相談
- 2日(木) 小中高短縮日課(5校時まで)  
舎・節分
- 3日(金) 国家試験オリエンテーション2  
一斉帰省
- 6日(月) 舎・囲碁教室
- 7日(火) 舎・リーディングサービス
- 8日(水) 合格発表・入学説明会
- 10日(金) 一斉帰省
- 15日(水) 中普後期期末試験(～17日)

